# 岐阜県の農業農村整備 2026


①


②


③


④




岐阜県 農政部 農地整備課・農村振興課

①揖原地区（垂井町）
②坂折樋田（恵那市）
③かわせみの杜関山田・棚田の会（関市）
④岡島頭首工（揖斐川町）

## 岐阜県の特徴

岐阜県は日本のほぼ中央に位置しており、関市には日本の人口重心があります。面積は約10,621平方キロメートルで、全国第7位の広さを誇り、7つの県に囲まれた数少ない内陸県の一つです。

岐阜県北部の飛騨地域には、御嶽山、乗鞍岳、奥穂高岳などの標高3000メートル級の山々が連なっています。一方、南部の美濃地域には濃尾平野が広がり、木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川が流れています。特に長良川中流域は、「日本の名水百選」に選ばれるほど美しい清流です。このような豊かな自然に恵まれた岐阜県は、古くから「飛騨の山、美濃の水」を意味する「飛山濃水」の地と呼ばれてきました。豊かな水と多様な地形は本県農業を支える貴重な資源であり、特色ある農業と農村の形成につながっています。


ユネスコ世界文化遺産 白川郷合掌造り集落
（写真提供 白川村役場）


ユネスコ無形文化遺産 山・鉾・屋台行事（高山祭）


ユネスコ無形文化遺産 風流踊（郡上踊）


FAO 世界農業遺産 清流長良川の鮎




ICID 世界かんがい施設遺産 曽代用水


岐阜県の農業農村整備2026
発　　行　令和８年10月
発 行 者　岐阜県 農政部 農地整備課・農村振興課
問い合わせ先　〒500-8570 岐阜県岐阜市薮田南2-1-1　TEL.058-272-1111（代表）
ホームページ　https://www.pref.gifu.lg.jp/page/13269.html
メ　ー　ル　c11431@pref.gifu.lg.jp


## 岐阜県の特徴

岐阜県農業は、「日本の縮図」ともいえる変化に富んだ自然条件と大消費地に比較的近い立地条件を生かして多彩に営まれています。美濃から飛騨にかけて多種多様な作物が周年にわたって栽培され、いつでも新鮮な農産物が供給できるという特長があり、主な銘柄品は水稲「ハツシモ」をはじめ、「富有柿」、「飛騨牛」など数多くあります。

岐阜、西濃地域では、トマト、いちご、きゅうり等の施設野菜や、ほうれんそう、えだまめ、だいこん、にんじん等の露地野菜、かき、みかん等の果樹、切りバラや鉢物等の花きが栽培されているほか、稲、麦、大豆の土地利用型作物が南西部において盛んに作付けされています。また、中濃、東濃地域では、夏秋トマト、夏だいこん等の野菜類、くり、なし等の果樹、シクラメン等の花きの栽培のほか、豚や鶏の家畜生産と酪農が行われています。

飛騨地域の農業は、夏期の冷涼な気候を生かして夏秋トマト、夏ほうれんそう等の野菜類、もも、りんご等の果樹、夏ぎく等の花きの栽培、広大な山地を利用した肉用牛の生産、酪農が行われています。

また、水産業では、アユやマス類を中心とした河川漁業や養殖漁業が中心となっています。

### 令和6年 品目別産出額

| | 品目名 | 産出額（億円） | 構成比(%) |
|---|---|---|---|
| | 農業産出額 | 1,373 | 100.0 |
| 1 | 米 | 333 | 24.3 |
| 2 | 鶏卵 | 143 | 10.4 |
| 3 | 肉用牛 | 126 | 9.2 |
| 4 | トマト | 98 | 7.1 |
| 5 | 豚 | 91 | 6.6 |
| 6 | ほうれんそう | 56 | 4.1 |
| 7 | 生乳 | 42 | 3.1 |
| 8 | いちご | 37 | 2.7 |
| 9 | かき | 34 | 2.5 |
| 10 | ブロイラー | 25 | 1.8 |

資料：農林水産省統計部「生産農業所得統計」

### 岐阜県農業の主な指標

| 区分 | 単位 | 数値 | 引用 |
|---|---|---|---|
| 総土地面積 | $km^2$ | 10,621 | ⑴ |
| 耕地面積 | ha | 53,500 | ⑵ |
| 田 | ha | 40,900 | ⑵ |
| 畑 | ha | 12,500 | ⑵ |
| 担い手への農地集積面積 | ha | 23,551 | ⑶ |
| 担い手への農地集積率 | % | 44.0 | ⑶ |
| 総人口 | 千人 | 1,935 | ⑷ |
| 総農家数 | 戸 | 39,747 | ⑸ |
| 基幹的農業従事者 | 人 | 13,837 | ⑸ |
| 農業経営体数 | 経営体 | 15,030 | ⑸ |

資料：
⑴ 国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（令和8年4月1日時点）
⑵ 農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（令和7年7月15日現在）
⑶ 農林水産省経営局「農地中間管理機構の実績等に関する資料（令和7年度）」（令和8年3月末）
⑷ 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（令和8年1月1日現在）
⑸ 農林水産省統計部「2025年農林業センサス」

## 岐阜県の農村の持つ資源と機能

農業・農村の有する多面的機能は、「食料・農業・農村基本法」第４条により「国土の保全、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等農村で農業生産活動が行われることにより生ずる食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能」と定義されており、国民の生活や経済の安定に果たす役割を踏まえ、将来にわたって適切かつ十分に発揮されなければならないことが定められています。

本県の農業・農村の多面的機能評価額は1,424億円であり、このうち、中山間地域が785億円です（※評価額の一部については推定値）。

### 岐阜県の農業・農村の多面的機能評価額（推定値）

| 機能 | 令和元年（億円／年） |
|---|---|
| ①洪水防止 | 632.2 |
| ②水源かん養 | 489.4 |
| ③土壌浸食防止 | 48.9 |
| ④土砂崩壊防止 | 23.8 |
| ⑤有機性廃棄物処理 | 0.1 |
| ⑥大気浄化 | 1.2 |
| ⑦気候緩和 | 2.6 |
| ⑧保健休養・やすらぎ | 225.8 |
| 合計 | 1,424 |

※本県における農業・農村の有する多面的機能については、平成16年3月に国の諮問を受けた「食料・農業・農村基本問題調査会」において示された代替法により評価額を算定した。今般、現在の多面的評価額について前述の評価法により、各種数値、単価を置き換えて算出している。



## ぎふ農業農村整備アクションプログラムの概要

岐阜県では、「楽しい農業・儲かる農業の実現」を基本理念とし、今後５年間に県が重点的に取り組む農業・農村振興施策を示す「ぎふ農業活性化基本計画（令和８～12年度）」を策定しました。

基盤整備部門（農業農村整備部門）では農業農村整備の果たすべき役割と具体的な施策の展開方向を明らかにし、基本計画を着実に達成するための「重点目標」と「実行指標」を「ぎふ農業農村整備アクションプログラム」として取りまとめました。

### ぎふ農業農村整備アクションプログラム（令和8～12年度）の全体概要

**県の農政施策の方向性**

ぎふ農業活性化基本計画（R8～R12）
基本理念「楽しい農業・儲かる農業の実現」

❶新たな担い手の確保
・多様な主体の促進や地域農業を牽引する経営体の育成
❷潜在力をフル活用した生産強化
・農産物の供給力強化に向けた生産基盤の整備
❸新たな流通ルートの開拓、販路拡大
❹安心できる農畜水産業と農村の環境整備
・地域資源を活かした農村振興と農村の防災・減災対策の強化

**国の土地改良事業の方向性**

土地改良長期計画（R7～R11）
～食と暮らしを支える水と土の未来のために～

❶生産性向上等に向けた生産基盤の強化
・基盤整備による生産コスト低減と生産拡大
❷農業用水の安定供給及び良好な排水条件の確保
・農業水利施設の戦略的な保全管理と機能確保
❸増大する災害リスクに対応するための農業・農村の強靭化
・気候変動等に対応した防災・減災対策の推進
❹農村の価値や魅力の創出
・農村の所得向上と体制強化

「ぎふ農業活性化基本計画」の実行計画であるとともに、「土地改良長期計画」との調整も図りながら事業を推進する。

**ぎふ農業農村整備アクションプログラム**

❶農業生産力強化に向けた農業基盤づくり
◆優良農地の確保
（1）コスト低減による生産性の向上
（2）潜在力を最大限に生かした生産の拡大
◆安定した農業用水の確保
（3）農業水利施設の機能確保
（4）農業水利施設の管理体制の強化

❷農業・農村の防災力の強化
◆農村の防災・減災対策の強化
（1）農村地域の減災対策
（2）農業用施設の防災対策

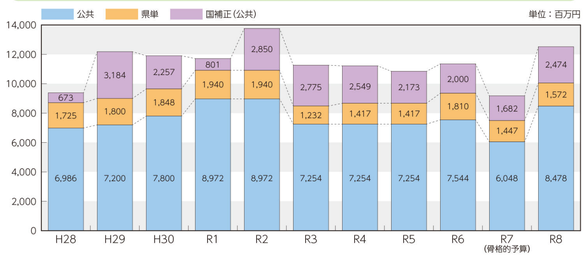
❸活力と魅力あふれる農村づくり
◆農村を支える活力と魅力の創出
（1）中山間地域等における農業・生活基盤の維持
（2）多様な主体による農村保全活動等の推進

共通視点
①予算の重点化など効果的な事業推進
②農業農村をめぐる関係者の連携・体制強化
③変動する環境・社会情勢への対応

重点目標：8
実行指標：14

**目指すべき姿**
食料自給力の向上　多面的機能の発揮

### 近年の農業農村整備事業の予算推移




## 施策の柱 ❶ 農業生産力強化に向けた農業基盤づくり

○国の食料安全保障強化に向けた動向や農業従事者の高齢化・労働力不足を踏まえ、本県の広大な農地の潜在力を最大限に活用した生産強化のため、ほ場の大区画化や暗渠排水の整備等を実施し、「優良農地の確保」に取り組みます。
○農業水利施設の機能を安定的に発揮させるため、計画的かつ効率的な補修・更新を推進します。また、土地改良区、市町村、集落等の関係団体の連携による保全管理体制の強化を図る「水土里ビジョン」の策定を促進し、「安定した農業用水の確保」に取り組みます。

### 優良農地の確保

▶コスト削減による生産性の向上
▶潜在力を最大限に生かした生産の拡大

ほ場の大区画化




栗原地区（垂井町）

・担い手への農地の集積・集約化
・スマート農業の導入

暗渠排水の整備


栗原地区（垂井町）

・水田の汎用化・畑地化
・良好な排水条件の確保

農地イキイキ再生週間の実施




・遊休農地の解消

### 安定した農業用水の確保

▶農業水利施設の機能確保
▶農業水利施設の管理体制の強化

農業用水路の整備


揖斐川水地区（関市）

・農業用水の安定供給

遠隔操作ゲートの導入


川西水源用水地区（下呂市）

・維持管理の省力化・省人化

## 施策の柱 ❷ 農業・農村の防災力の強化

○近年の気候変動に伴う集中豪雨などによる水害リスクに対応するため、機能が低下した農業水利施設の更新整備や適切な保全管理を進めるとともに、田んぼダム等による流域治水を促進し、「農村の防災・減災対策」に取り組みます。
○防災重点農業用ため池について、地震・豪雨・老朽化対策を進めるとともに、防災行動計画（タイムライン）の活用や災害図上訓練（ＤＩＧ）の実施を推進し、ハード対策とソフト対策の両面から防災・減災対策を強化します。

### 農村の防災・減災対策の強化

▶農村地域の減災対策
▶農業用施設の防災対策

農業用ため池の整備


揖斐地（垂井町）

・地震・豪雨・老朽化による決壊防止

農業用ため池の統廃合




・決壊リスクの解消
・維持管理負担の軽減

災害図上訓練（DIG）の実施



・地域の防災意識の啓発

農業用排水機場の整備


鵜森排水機場（大垣市）

・農地の湛水被害防止

田んぼダムの導入



・農地の雨水貯留機能の発揮
・洪水防止

## 施策の柱 ❸ 活力と魅力あふれる農村づくり

○岐阜県の農地の約半分を占める中山間地域において、安定した営農の維持・発展を図るため、地域の実情に即したきめ細やかな農業基盤の整備を進めます。また、基幹的農道や集落内道路、農業集落排水施設などの生活基盤の整備に取り組み「活力のある農村づくり」を推進します。
○「田んぼの学校」や「ぎふの田舎応援隊」などの取組を通じて農村の魅力を発信し、地域内外の多様な主体の参画による農村保全活動を促進することで、「農村を支える活力の創出」に取り組みます。

### 農村を支える活力と魅力の創出

▶中山間地域等における農業・生活基盤の維持
▶多様な主体による農村保全活動等の推進

中山間地域の農業基盤の整備




各務北東原地区（下呂市）

・地域の特色を生かした営農の推進




農道の整備




山中農道（関ケ原町）

・暮らしの利便性向上

田んぼの学校



・次世代の担い手の育成

ぎふの田舎応援隊



・地域外人材による農村保全活動の参画

## ぎふ農業農村整備アクションプログラム 重点目標・実行指標一覧

| 施策の柱 | 重点目標 | 実行指標 |
|---|---|---|
| 【推進施策1】農業生産力強化に向けた農業基盤づくり | ◆優良農地の確保<br>Ⅰ 基盤整備完了地区における担い手経営面積に対する農地集約化率 85%<br>Ⅱ 遊休農地解消面積 200ha | （1）コスト低減による生産性の向上<br>1-1 区画拡大（標準区画1ha未満）の整備面積 200ha<br>1-2 大区画化（標準区画1ha以上）の整備面積 150ha<br>（2）潜在力を最大限に生かした生産の拡大<br>1-3 暗渠排水の整備面積 230ha<br>1-4 遊休農地対策の実施箇所数 100箇所 |
| | ◆安定した農業用水の確保<br>Ⅲ 基幹的農業用水路の機能が保全され、農業用水が安定的に供給されている農地面積の割合 100% | （3）農業水利施設の機能確保<br>1-5 基幹的農業用水路の機能保全対策に着手した延長 9.0km<br>（4）農業水利施設の管理体制の強化<br>1-6 水土里ビジョンを策定した土地改良区の受益面積 15,000ha |
| 【推進施策2】農業・農村の防災力の強化 | ◆農村の防災・減災対策の強化<br>Ⅳ 田んぼダムに取り組んでいる水田の面積 595ha<br>Ⅴ 浸水被害等のリスクを軽減する農地面積の割合 100% | （1）農村地域の減災対策<br>2-1 田んぼダムの取組箇所数 30箇所<br>2-2 ため池のソフト対策実施数（タイムライン、DIG、管理指導） 200箇所<br>（2）農業用施設の防災対策<br>2-3 改修・廃止を実施するため池数 65箇所<br>2-4 更新・機能保全対策を実施する農業用排水機場数 5箇所 |
| 【推進施策3】活力と魅力あふれる農村づくり | ◆農村を支える活力と魅力の創出<br>Ⅵ 農地維持活動に集落で取り組む協定面積 28,300ha<br>Ⅶ 「ぎふ田舎応援隊」登録数 3,000人 25企業<br>Ⅷ 地域外人材を活用した棚田等農村活性化の取組件数 累計50件 | （1）中山間地域等における農業・生活基盤の維持<br>3-1 地域の実情に応じたきめ細かな生産基盤の整備面積 960ha<br>（2）多様な主体による農村保全活動等の推進<br>3-2 農地維持活動に取り組む集落の体制強化に向けた計画策定数 150件<br>3-3 農村活性化に資する地域外人材活用に向けた企業等への啓発回数 150回<br>3-4 地域住民や教育機関に対する農業体験等の実施回数 160回 |

※重点目標は「ぎふ農業活性化基本計画」に掲げられている数値目標と同じ
※実行指標は「重点目標」を達成するため、実行すべき主な取組の事業量